

・ 111【返信 社長逝去お悔やみ状への礼状】

ただ今は、わざわざごいていねいなご弔詞に加え、過分なるご香典まで賜り、ご芳情に深く感謝申し上げます。

日頃より健康には十分注意し、壮者を凌ぐほどの体力の持ち主であった社長です。で、看病の暇なき突然の他界は、一同未だに信じることができません。

本年は湾岸開発事業に着手し、社長が長年あためておりました港湾再開発プランを展開しようとした矢先の出来事ですので、夢半ばにして黄泉に召された社長の無念は、想像するだに胸つまる思いです。

かくなるうえは社員一丸となつて奮闘し、社長の遺志を寸分違わず実現することが、なによりの供養と考えております。

社長も折にふれて 様のことをお話になつておられましたので、ご弔詞を賜りさぞかしあちらで喜んでいるものと思えます。

社長になり代わり、お気づかいに改めて感謝いたします。

まずは書中にてごあいさつまで申し上げます。